**演題：**演題のフォントはMS明朝、10.5ポイント。行間・余白・段落設定の変更も不可。本フォーマットの余白を変更せずに、A4サイズ1枚で抄録を書いてください。青字部分は提出時には削除願います。

**著者：**混合　太郎1)、三久須　法子2)

**所属：**1) ○○大学　2) △△研究所

**本発表の専門分野：**○○○○、△△△△

**【背景】**本研究で混合研究法を用いなければならない理由を明確にすること。見出しは変更不可。本文のフォントはMS明朝、10.5ポイント（本文中の英数字は半角、フォントはCentury、10.5ポイント）。行間・余白・段落設定の変更も不可。本フォーマットの余白を変更せずに、A4サイズ1枚で抄録を書いてください。青字部分は提出時には削除願います。

**【方法】**見出しは変更不可。本文のフォントはMS明朝、10.5ポイント。行間・余白・段落設定の変更も不可。本フォーマットの余白を変更せずに、A4サイズ1枚で抄録を書いてください。青字部分は提出時には削除願います。

**【結果・考察・結論】**見出しは変更不可。本文のフォントはMS明朝、10.5ポイント。行間・余白・段落設定の変更も不可。本フォーマットの余白を変更せずに、A4サイズ1枚で抄録を書いてください。青字部分は提出時には削除願います。

**【混合研究法への示唆】**＜抄録における最も重要な項目になるので、熟慮の上、＞本研究が混合研究法にどのように貢献するかを記述すること。見出しは変更不可。本文のフォントはMS明朝、10.5ポイント。行間・余白・段落設定の変更も不可。本フォーマットの余白を変更せずに、A4サイズ1枚で抄録を書いてください。青字部分は提出時には削除願います。

**【参考文献】** 引用文献の記載をする場合は５つまでAPA Style\*で記載。参考文献リストを含め、1頁以内で作成してください。参考文献のフォントはMS明朝、10.5ポイント。行間・余白・段落設定の変更も不可。本フォーマットの余白を変更せずに、A4サイズ1枚で抄録を書いてください。青字部分は提出時には削除願います。

\*詳細は日本心理学会会誌「心理学研究」の執筆・投稿の手引き[https://psych.or.jp/wp-content/uploads/2019/02/The-JPA-Publication-Manual.pdf pp38](https://psych.or.jp/wp-content/uploads/2019/02/The-JPA-Publication-Manual.pdf%20pp38)-46を参照のこと。